

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 071	提案機関名 畜産技術センター
要望問題名 つなぎ式牛舎での効率的な肥育手法	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 乳牛用つなぎ牛舎で肥育牛を飼養する場合、隣の牛房に強い牛がいると弱い牛は逃げるできないために常時ストレスを受けることになり、飼料摂取量や飲水量の減少から肥育成績が低迷するケースが多い。安価かつ簡易で効果的なストレス緩和手法があると経営収支の向上が期待できる。そこで、つなぎ牛舎における効率的な肥育手法の検討をお願いします。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ここ数年、県内でも乳牛用つなぎ牛舎で肥育牛を飼養する経営形態が散見されてきています。ご指摘のとおり、隣の牛房に強い牛がいると常時ストレスを受け肥育成績が低迷するケースが多いと考えられます。一般的な解決策としては、牛の順番を入れ替えるか、仕切りを設けることだと思われます。それらについて、現地で調査する場合には、ご協力したいと思います。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			